



風と緑と太陽



心を開いたあいさつ

校長 大澤 禎一

すっきりしない天気や蒸し暑い日が続いていますが、子どもたちは明るく元気に学校生活を送っています。城山っ子の様子をホームページで伝えていますが、6月には学校公開を計画しています。子どもたちの授業の様子を直接ご覧いただければと思います。

さて、朝、登校してくる子どもたちから「おはようございます」のあいさつが聞こえてくるととてもさわやかな気持ちになれます。しかし、なかなか自分からあいさつができない子、「おはよう」と声をかけてもあいさつが返ってこない子もいます。あいさつはとても大切であることは、小さいころから教えられているのに、なぜできなくなるのでしょうか。「あいさつをしよう」と呼びかけただけでは、一時的にはできるようになるかもしれませんが、しだいにできなくなるように思います。また、あいさつが形式のようになっていて、「おはよう」と声をかけられたから「おはよう」と返しているだけの子も見られます。「あいさつは大切だと思う心」を育てなければ本当の意味でのあいさつは続かないのではないかと思います。そのためには、あいさつをする相手に対して心を開くことが大切です。あいさつはコミュニケーションのきっかけにもなります。「ありがとう」や「ごめんなさい」、「素直に気持ちを伝えること」も人間関係づくりには大事なスキルです。



幼いころから身につける習慣が大きく影響するところもあると思います。私たち大人も心を開いたあいさつができれば、子どもたちもそれを肌で感じ取っていくのではないのでしょうか。あいさつの大切さを伝えるとともに、ご家庭でもあいさつを交わす姿を子どもたちに見せてもらえればと思います。ひとりひとりが心を開いて、相手に対して心から「おはようございます」とあいさつをすることで、お互いに気持ちの良い一日がスタートできるはずです。

城山っ子のさわやかなあいさつを楽しみにしています。

しろやま 城山っ子のみなさんへ

朝、みなさんが登校してくるとき、校門で「おはようございます！」と、さわやかな声であいさつしてくれる城山っ子がいます。とてもさわやかな気持ちになります。

自分からあいさつするのは、ちょっとはずかしくて、勇気がいることかもしれません。それでも勇気を出して自分から、相手の目を見てあいさつをしてみましょう。

「あいさつは 相手の目を見て 自分から。

明るく笑顔で さわやかに！」

明日も「おはようございます！」

気持ちのよいあいさつを楽しみにしています。

おはよう
ございます！

